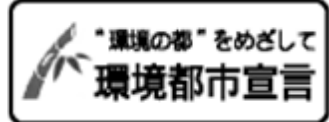


環境の都ニュース

2015. 5. 1 NO. 81



発行：長岡京市
環境の都づくり会議
発行責任者：江川 宗治
編集担当者：山本 雅夫

「美しく、楽しく、健全な恵みの森」西山

5月、八条が池ではキリシマツツジが咲き誇り、乙訓寺ではボタンが大輪の花を咲かせます。西山では若葉が萌え、最も華やいだ季節を迎えています。

長岡京市では、昨年度、第二期環境基本計画「“環境の都” ステップアップ・チャレンジ」として、皆様方との協働により、「長岡京環境検定」と「省エネナビモニター」を実施いたしました。

「長岡京環境検定」では、問題作成から試験当日の運営までご協力いただき、おかげさまで多数の方の参加を得て、第1回を飾ることができました。今年も9月6日の開催を予定していますので、さらに多くの方の参加により、環境への関心の広がりをめざしたいと思っています。

「省エネナビ」とは、電気使用量が計測でき、使っている電気の見える化を図る機器です。家庭に取り付けてもらい、夏（6月～9月）と冬（11月～2月）の期間、節電に取り組んでもらいました。ステップアップ・チャレンジ会議の皆様の適切なアドバイスにより、参加の家庭では、昨年度同時期に比べ、夏は平均で10.7%、冬は18.9%の削減を達成されました。現在、今夏のモニターを募集中です。モニターを経験することにより省エネ家庭が増え、その経験をもとにさらに市内全体へ広げてゆくことができると願っています。

環境の都づくり会議からもワーキング委員として参画していただいている西山森林整備推進協議会では、協議会発足後10年目の昨年、1年をかけて西山森林整備構想の改定を図ってきました。平成16年から始まりました西山の森林整備では、全体の約33%の整備が進みました。しかし、森林は日々成長し、特に竹は生育のスピードが速く、放置すれば荒廃が進みます。そこで新構想では「美しく、楽しく、健全な恵みの森」を保全育成することを目標に、効率的な整備をめざします。

森林は多様な機能を持っています。緑の保全、水源の涵養、災害の防止、生物多様性の確保、望ましい景観、レクリエーション空間、地球温暖化の防止などです。西山の森林を望ましい自然環境として守り育てていくには、計画的に継続して整備していくことが必要です。

今年度末には、西山への入り口となります奥海印寺西代に大規模な公園が完成します。公園を森林保全や竹林整備の活動の拠点として、おおいに活用していただきたいと考えております。管理棟や公園の運用管理について、環境団体の方々のご意見を参考してまいりたいと考えておりますので、よろしく願います。

長岡京市 環境経済部 環境政策監 中野 雅憲



西山ファミリー環境探検隊



西代公園



家でできる地球温暖化対策

最近、電気を大切に使う家庭が増えてきました。電気だけでなく、下に挙げた取り組みをもう一度見直して、できることから始めてみましょう。地球温暖化防止につながるだけでなく、家計費の節減にもなり、一石二鳥です。

	取 り 組 み の 例	一世帯当たりの年間CO2削減効果(約)	一世帯当たりの年間節約効果(約)
1	冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する	29kg	1,830円
2	週2日往復8kmの車の運転をひかえる	184kg	9,200円
3	1日5分間のアイドリングストップを行う	40kg	2,360円
4	待機電力を50%削減する	60kg	3,400円
5	シャワーを1日1分家族全員が減らす	29kg	2,760円
6	風呂ののこり湯を洗濯に使いまわす	7kg	4,200円
7	ジャーの保温を止める	16kg	1,007円
8	家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす	238kg	10,400円
9	買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶ	56kg	—
10	テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす	6kg	370円

出典 環境省「身近な温暖化対策」パンフレット、資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド」
エコチーム 田原誠一郎



第79回 環境教育ミーティング(平成27年度のテーマ:自然と環境)

主催:長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト/長岡京市立中央公民館
後援:長岡京市 京都府地域力再生活動

森のめぐみと西山ファミリー環境探検隊 ～森は循環の要(かなめ)～



日時:平成27年 5月21日(木) 夜7～9時

参加無料

会場:長岡京市立 中央公民館 2階・講座室

講師:加藤 克巳さん

お話の内容

生態系のしくみを知ると、森は自循環のかなめの役割を果たしていることが分かります。
循環を考えます。
西山の森の魅力と西山ファミリー環境探検隊の活動内容をご紹介します。



講師プロフィール

長岡京市民活動の経歴

- 1996年～97年 市民環境フォーラムに参加
- 1997年～2011年 まちづくり市民懇談会に参加
- 2001年～ 1) 環境の都づくり会議に参加
- 2003年～ 2) 里山再生市民フォーラムに参加
- 2005年～ 3) 西山森林整備推進協議会に参加
- 2005年～10年 NPO法人 市民活動サポートセンターに参加
- 2013年～14年 京都府地球温暖化防止推進員
- 現在 1) 2) 3) で活動中です。



今年度最初の行事は筍ほりから

竹林、ビオトープ、花、3 P J T 合同企画記事

記事 奥西

世間が桜を見上げている間に竹林ではニョッキニョッキと筍が顔を出し始めました。竹林では親竹の何倍かの数の筍が3月の後半から6月に掛けて次々と生えてきます。筍を収穫できる季節ではありますが、私たち竹林保全活動にはこんな使命もあるのです。

竹やぶの中って・・・濃く茂った緑の葉、すらりと伸びた幹の間から遠くの里が見通せる。木漏れ日が揺れてかすかな風をおしえてくれ、枯葉で敷き詰められた地面はふかふかとして続く・・・整備された竹林は長岡京市のシンボルですよネ。森林はきれいな水と空気を生んでくれる最大の地球資産だと思います。

私たちは竹林を健全な緑の林に維持するために1年を通して竹林の養生を行なっています。健康な筍を生まないと良い竹になりません。一本の親竹は数本の筍を生みますが、そのなかの元気で必要な筍だけを残して大事に育てます。不要な筍は今のうちに掘り起こすなどして取り除いてやらないと、大きくなってからは切り倒すのも大変な作業になるのです。

採った筍は季節の恵みとしてうれしいのですが、その間連日作業にかからなければなりません。うれしいことに竹やぶが大好きなチビっこくんたちや元気いっぱい女性グループが毎年応援に来てくれます。4月15日には一緒に花の植栽活動をしている花にしきの皆さん、4月18日には第六小学校の生徒さんが来てくれました。そのあとも第四小、長法寺小、ゆりかご保育園、古市子供会など、体験学習として応援に来てくれる予定があります。また5月に入ると伸びすぎた筍をけり倒す行事など一年を通した企画をしています。

すくすく教室では他にも、憩いの森で自然スポーツ体験、小泉川での生物観察、竹林での炭焼き体験と季節ごとのカリキュラムを準備し、すでに計13件の教室予約を頂いています。このようにして竹林作業や環境活動の一端でも知ってもらい、後々活動に参加してくれるようになるとうれしいのです。私たちは市内の9か所の竹林と小泉川、小畑川、西山公園体育館2F庭園、中央公民館花壇を活動の拠点として環境保全活動を続けています。総勢42名はこの場所に来ると5歳は若返り、生き生きとして楽しんでます。でも本当のところは平均年齢を3歳下げたいのです。関心があれば個人でも、団体であっても催しへの参加や入会を歓迎します。



掘り尽くすぞ〜！と大ハッスルの花にしきさん



自分で掘って感激！



竹林整備とタケノコの説明を真剣に聞く第六小の生徒さん



里山再生 P J T



西山の自然観察 ファミタン（西山ファミリー環境探検隊） 参加者大募集

西山森林整備推進協議会主催で環境の都づくり会議などが協力するファミタン（愛称）が今年も始まります。今年で9年目になります。スタッフの他、自然観察指導員京都連絡会の方、京都府立大学ボランティアサークル「森なかま」の学生さんなどと一緒に活動します。楽しい経験ができます。

第1回目 春の西山観察 平成27年4月29日（水、祝）…募集終了

「春の自然観察—花や虫がいっぱい」西山キャンプ場付近

今後の予定 市民広報でそのつど募集します。

第2回目 夏の川遊び 7月25日（土）

小泉川でめいっぱい遊びます。スイカ、キュウリを食べます。

第3回目 秋の西山観察 10月18日（日） キャンプ場どんぐり集め

第4回目 冬の西山観察 平成28年2月7日（日） パオの森たき火料理（一昨年はシカ肉カレーでした）

問合せ先：西山森林整備推進協議会（市役所環境政策監内）

電話 075-955-9542

(FAX 075-951-5410)

記事 里山再生 P J T 加藤

写真は昨年の様子





トピックス



E c oに取り組みお店や会社の紹介

(株) リバティ長岡 沿革

- 昭和44年 60店の独立店舗による市場形式として創業
- 昭和47年 長岡ショッピングセンター事業協同組合設立
- 平成2年 共通レジ方式を採用したセルフゾーンと個店との複合商業施設「リバティ長岡」として33店舗がリニューアルオープン
- 平成14年 一元化食品スーパー 「株式会社リバティ長岡」設立
- 平成17年 全面改装オープン



E c o活動内容・状況

店頭ではペットボトル・食品トレイ・牛乳パック等を回収
 アルミ缶の回収・・・ポイントが付く 検討中
 古紙の回収・・・ポイントが付く 検討中
 生ごみ処理機 花を植える土になる。 検討中
 店内のサービスカウンターでゴミ・粗大ごみ処理手数料券の取扱いに協力しています。

エコキャップ回収数量

総合計 93,512個 (平成23年8月24日～12月31日)
 1日平均 792個 (総日数 118日)



★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内 容	連絡先	T E L
里山再生PJT	里山再生	加藤 克己	951-0933
環境教育PJT	環境教育	西村 日出男 E mail : sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp	952-3718 FAXも同じ
エコチームPJT	地球温暖化防止	田原 誠一郎	953-1696
ビオトープPJT	ビオトープ	小根田 勝信	957-4081
花を咲かそうPJT	花を咲かそう	湯川 智子	952-5505
竹林再生PJT	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757
環境の都づくり会議 代表	活動全般	江川 宗治 E mail : egawam@kyoto.zaq.ne.jp	957-6169 FAXも同じ

事務所：多世代交流ふれあいセンター内 (〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1)

環境の都づくり会議のホームページを作りました。各PJTの活動内容と写真などが有ります。是非ご覧ください。
アドレス＝ <http://kankyonomiyako.jimdo.com/>

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金：一口年間1000円(一口以上) あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記

今回のニュースから、身近に西山があり、そこに立ち入る活動ができる環境に住まうことの有難さを思います。環境の都づく会議以外にも市内には、子供たちに野山の自然を体験・学習の機会を世話するボランティアが多くあるようです。恵まれた環境にいることと思えました。(文；山本)